

経営比較分析表（令和5年度決算）

和歌山県 湯浅町

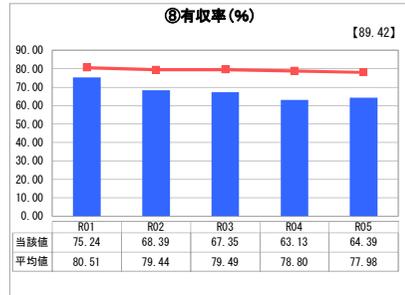
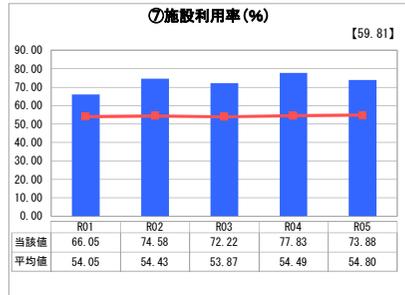
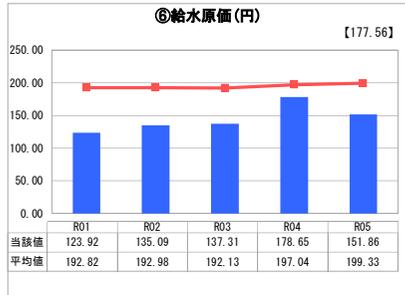
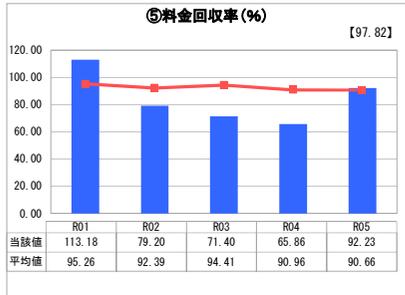
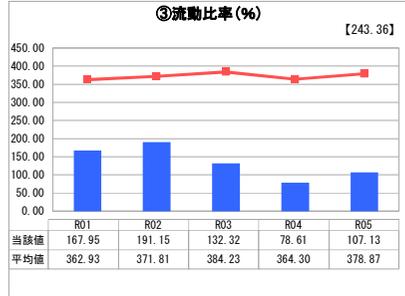
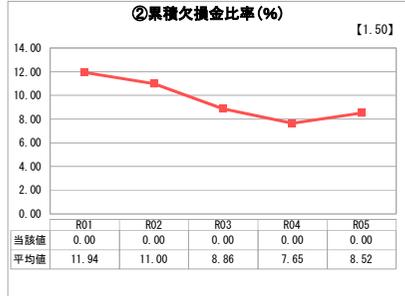
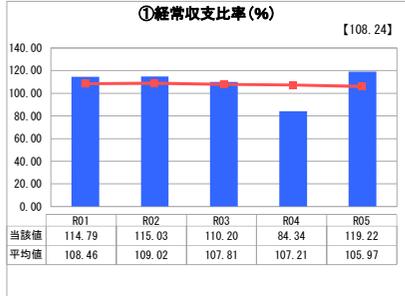
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	57.94	99.80	2,514	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
10,944	20.80	526.15
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,001	23.54	552.29

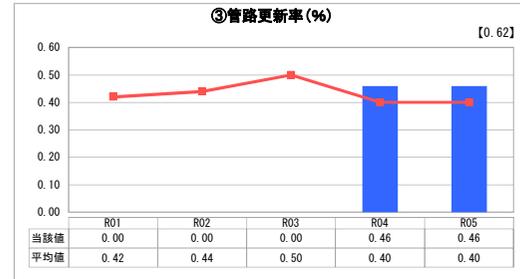
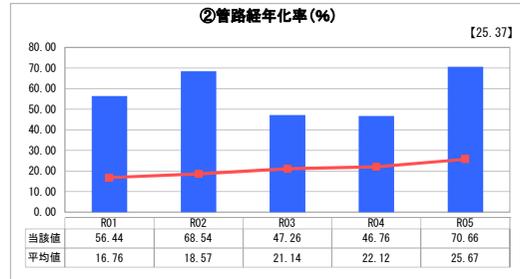
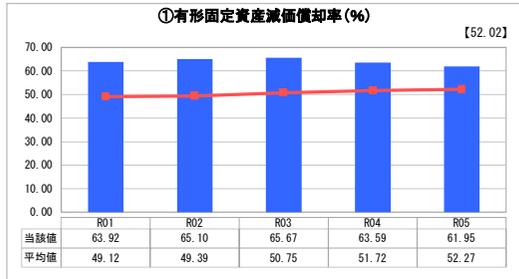
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率は、経常利益が発生したため100%を上回った。経常利益が黒字化した要因としては、一般会計からの補助金の繰入が増加したことが主な要因である。
- ② 累積欠損金は発生していません。
- ③ 流動比率は100%を上回っているものの、類似団体平均を大きく下回っており、支払能力に余裕のある状況ではない。
- ④ 企業債残高対給水収益比率は、類似団体平均より大きく下回っており、令和4年度より減少傾向にあるが、今後建設改良工事の増加により起債借入の増加が見込まれるため注意が必要。
- ⑤ 料金回収率は100%を下回っております。令和6年度に水道料金が値上げとなるため改善されると思われるが、費用の削減も努めていきたい。
- ⑥ 給水原価は類似団体平均を下回る水準であるが、更なる効率的な運営を行うため、費用の削減に努めていきたい。
- ⑦ 施設利用率は類似団体平均を上回っていますが、
- ⑧ 有収率は類似団体平均を下回っているため、施設利用率の高さは収益に結びついていないと考えられる。漏水対策を進め、有収率の向上、効率的な施設利用につなげていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均を上回る水準となっており、法定耐用年数に近い資産が多く施設の更新需要が高い状況であるといえる。
- ② 管路経年化率についても類似団体平均を大きく上回っており、管路更新が喫緊の課題であるといえますが、1-③流動比率が低いことから支払に対する能力が低いため事業を進めにくい現状がある。
- ③ 管路更新率は、類似団体平均と同水準となっており、起債や他会計出資金を活用し管路更新を進めた結果である。

全体総括

経営の健全性・効率性につきましては、当年度は一般会計からの補助金を繰り入れたことにより、純利益が黒字化した。令和6年度に料金改定を実施しますが、受水費や動力費の増大により、経営環境の劇的な改善は見込めず、老朽化資産の更新には、更なる経営努力が求められます。少しずつではありますが、管路等設備の更新を進めるとともに財源確保を徹底し、将来にわたり健全な事業運営を目指す。